

令和4年度 健診受診状況（性別・年代別）について

※国への報告に用いる集計条件と異なる部分がありますので、参考値としてご覧ください。

特定健診とは・・・40歳以上の加入者を対象としたメタボリックシンドロームに着目した健診（血液検査・尿検査が主）

受診方法

【被保険者】

生活習慣病予防健診
協会けんぽが費用補助をする特定健診。
がん検診（肺・胃・大腸）等を加え、総合的な健診として、
35～74歳を対象に実施。
全国の契約健診機関で受診可。

※生活習慣病予防健診を利用しない場合、事業者健診に含まれる特定健診項目の結果提供を受けている。

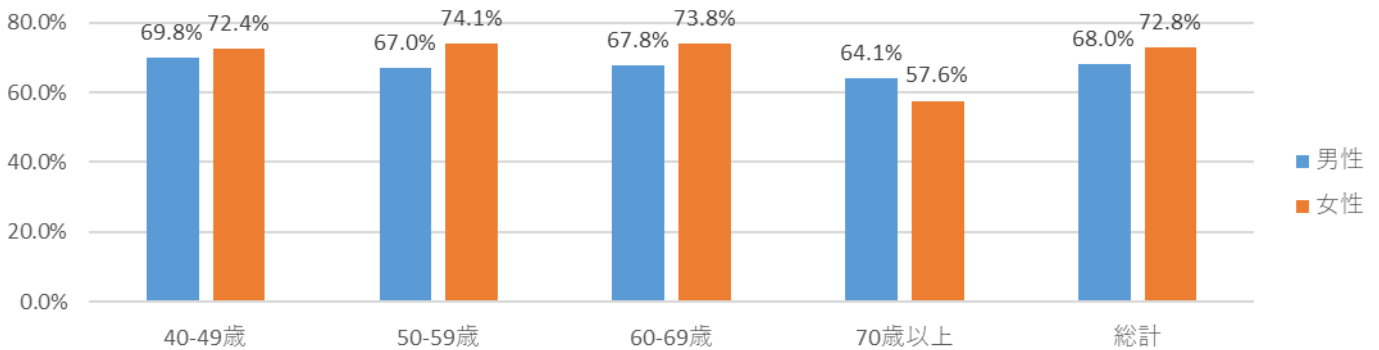
【被扶養者】

特定健診
40～74歳の家族を対象に実施。

- ①契約健診機関で受診
- ②市町村が実施する集団健診会場で受診
- ③協会けんぽが主催の集団健診で受診

※がん検診は市町村が実施する住民検診で受診可。

被保険者（生活習慣病予防健診＋事業者健診データ取得）

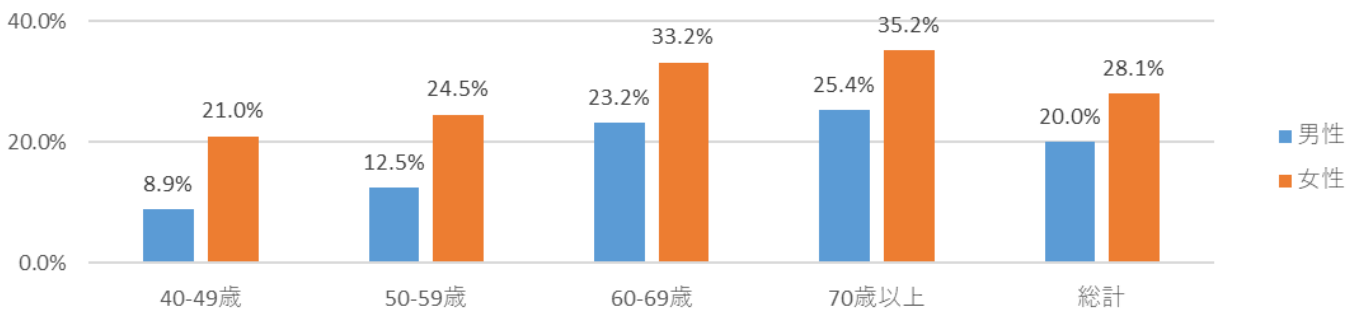


年代の比較では70代の受診率が低く、背景として、定期的な通院による健診に対する意識の低下やこのデータに含まれない人間ドックを受診していることが推測される。
男女の比較では、70代以外は女性の受診率が高い。

性別	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
受診者	39,577	34,535	28,625	6,031	108,768
対象者	56,688	51,564	42,214	9,412	159,878
受診率	69.8%	67.0%	67.8%	64.1%	68.0%

性別	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
受診者	29,828	27,743	16,506	2,240	76,317
対象者	41,171	37,457	22,365	3,890	104,883
受診率	72.4%	74.1%	73.8%	57.6%	72.8%

被扶養者



60代、70代の受診率が高い。この年代の受診率が高い理由の一つとして、退職等により時間に余裕ができ、自身の健康に気遣えるようになったと推測できる。
40代、50代の受診率向上を図る必要がある。

性別	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
受診者	70	75	398	369	912
対象者	787	601	1,713	1,455	4,556
受診率	8.9%	12.5%	23.2%	25.4%	20.0%

性別	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
受診者	3,061	3,775	6,687	2,738	16,261
対象者	14,594	15,382	20,144	7,786	57,906
受診率	21.0%	24.5%	33.2%	35.2%	28.1%